



学校だより

しもかまた

令和6年6月28日 第4号
江戸川区立下鎌田小学校
校長 黒澤 義和

学力向上に向けて

副校長 山本 秀樹

先日の学校公開では、暑い中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。学校生活を元気に送っている子供たちの様子を見ていただけたことと思います。

さて、本校では、4月の保護者会で校長より説明させていただいた通り、学力向上について「知識・技能を習得し、活用する能力の育成」を目指し、次のような取組を進めています。

◇基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させる

- ・2年生以上は算数の授業は習熟度別授業を行っています。各単元の1か月前を目安にレディネステストを実施して苦手な内容を復習したり、授業冒頭で計算練習をしたりして授業の内容がしっかり身に付くように工夫しています。
 - ・毎週火曜日の朝の時間を「算数タイム」として、苦手な内容や現在学習している単元の補習をしたり、思考力向上のための問題を解いたりする時間にしています。
 - ・1年生にもiPadを配布しました。7月8日(月)～14(日)の「江戸川っ子 study week!」では、タブレット内の電子ドリル「ドリルパーク」の宿題を出します。自分のペースで習ったことを繰り返し復習します。
- ※今後、学期末に東京ベーシックドリルを基にした計算問題テスト「全校計算テスト」を実施し、1学期に取り組んだ学習内容の定着度を確認します。定着が十分でない内容については学級や少人数指導、個人で復習して確実に身に付けられるようにします。

◇思考力・判断力・表現力を育てる

- ・算数の校内研究では、児童の習熟度に合わせて指導法を工夫したり、次の学年でも大切になる考え方を共通理解したりして、学習内容を全員が身に付けられるように全校で研究を進めています。算数以外の授業でも、自分の考えを伝えたり、友達の思いを聞いたりする時間を設定し、児童が主体的に学習に取り組めるよう働きかけています。
- ・高学年以上は読売新聞社の「よむ YOMU ワークシート」を週1回実施することで、読解力を向上させています。年度の後半からは4年生も取り組む予定です。

◇課題解決的な学習を取り入れ、自己学習力を育てる

- ・中学年以上は家庭学習で自主学習の時間を取り入れるなど、自分の課題に対して児童自らが振り返り、解決に取り組むよう促しています。3年生でも自分の課題を理解し、自主学習に取り組める児童が増えてきています。

これからの時代は変化が大きく、多様な課題を解決していく力が必要になると言われています。本校では人と協働的に関わったり、自分を振り返ったりするなど様々な学びを通して、基礎的な技能だけでなく、児童が課題を解決していく力を伸ばせるよう指導してまいります。1学期の登校日も残り14日となりましたが、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

学校いじめ防止基本方針について

6月はふれあい月間でした。子供たちが楽しい学校生活を送れるようにするために、全学級で学校生活についてのアンケートを取ったり、いじめの防止の授業を行ったりしました。「いじめ防止対策基本方針」が学校HPに掲載されていますので、ご家庭でも確認いただきますようお願いいたします。